

令和 4 年度 事業報告書

社会福祉法人 寿泉会

特別養護老人ホーム海風荘
海風荘短期入所生活介護事業所
海風荘デイサービスセンター
海風荘居宅介護支援事業所

目 次

項 目		ページ
1	法人運営の概要.....	1
(1)	財務管理	2
(2)	労務管理	3
(3)	地域ボランティア及び福祉教育の実践	
(4)	リスクマネジメント	
(5)	食事の提供	
(6)	施設の安全管理	
2	法人事業概要.....	4
(1)	法人名	
(2)	所在地	
(3)	設立許可年月日	
(4)	法人事業	
3	評議員会.....	5
(1)	評議員の構成	
(2)	評議員会開催状況	
(3)	評議員選任・解任委員会の構成	
(4)	評議員選任・解任委員会の開催状況	
4	理事会	
(1)	役員の構成	
(2)	理事会開催状況	6
5	職員状況.....	7
6	運営組織図.....	8
7	年間行事開催状況.....	9
8	職員研修等	
(1)	施設内研修	
(2)	施設外研修	10
(3)	新採職員施設内研修	12

	項 目	ページ
9	特別養護老人ホーム海風荘.....	13
(1)	稼働状況	
(2)	入所者男女別割合と要介護度状況	14
(3)	入所者平均要介護度	
(4)	入所者年齢状況	15
(5)	入所者の入所期間状況	
(6)	入退所状況	16
(7)	入所待機者（入所申込者）の状況	
(8)	給食の活動状況	17
(9)	機能訓練の活動状況	18
10	海風荘短期入所生活介護事業所.....	20
(1)	稼働状況	
(2)	利用者平均要介護度	21
(3)	利用者年齢状況（平均年齢）	
(4)	利用頻度状況	
11	海風荘デイサービスセンター.....	23
(1)	稼働状況	
(2)	要介護度別の男女別利用状況	24
(3)	利用者平均要介護度	
(4)	利用者年齢状況（平均年齢）	25
(5)	利用頻度状況	
12	海風荘居宅介護支援事業所.....	26
(1)	事業実施報告	
(2)	職員体制	
(3)	ケアプラン作成状況	
(4)	活動状況	27

社会福祉法人 寿泉会

1. 法人運営の概要

社会福祉法人は、社会、地域における福祉の発展・充実を使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に努めるとともに、多様な福祉課題に柔軟かつ主体的に取り組む、極めて高い公共性・公益性及び倫理性を有する法人であるとされています。

また、地域福祉の中核的な担い手である社会福祉法人は、より効率的・効果的・透明性のある経営を実践して、利用者の多様な福祉ニーズに対応していくことが求められています。

このため、本法人では、ガバナンスの強化・事業運営の透明化・財務規律の強化並びに地域における公益的な取り組みとして「生計困難者レスキュー事業」の実施など、社会福祉法人制度の趣旨に則り、定款に基づいた運営を進めました。

また、地域包括ケアシステムの確立に社会福祉法人の積極的関与と拠点化が強く求められている中、令和4年度も、これまでに引き続き、経営の充実と安定を基調とし、利用者の確保対策や全職員のスキルアップ制度を確立し、福祉サービスの基本理念であるノーマライゼーションとコミュニティケアを再構築すると共に、施設・事業所が有する専門的機能を十分に発揮しながら、入所者・利用者の能力に応じた適切なサービスの提供に努め、認知症介護を含む、安らぎと満足感が得られる介護サービスの向上を目指して地域に密着し、より開かれた施設・事業所づくりに努めました。

また、職員の育成は、重要な課題であり、法人・施設・事業所の職員としての資質の向上のため、施設内外での研修等、個別実践教育に取り組み、また昨年度に引き続きWEBでの研修には積極的に参加し、法人・施設・事業所の職員としての資質の向上に努めました。

なお、「持ち込まない・感染させない・持ち出さない」を目的として、令和元年度後半より実施している新型コロナ、インフルエンザ及びノロウイルス等感染症の施設内感染の予防対策については、今年度においても引き続き実施いたしましたが、令和4年12月28日に特養施設内でのコロナ陽性者を確認し、職員14名入所者25名計39名の罹患者が発生致しましたが、翌年1月25日に隔離解除となり、全ての方が無事に療養期間を終了致しました。

昨年度から引き続き新型コロナ感染予防のため、入所者のご家族等との「直接面会は制限」させていただき、「窓越し」や「オンライン」を利用した面会を継続いたしました。

また、職員は、出勤前、出勤時及び退勤時の体温記載と合わせ、長崎県が考案した健康アプリN-CHAT（エヌチャット）への入力による体調管理を実施いたしました。

令和4年度の法人としての重点事項の取り組み状況は、次のとおりです。

（1）財務管理

令和4年度の決算状況（決算3表）は次の通りです。

資金収支計算書： 法人の会計期間の資金の流れ

事業活動計算書： 純資産の増減

貸借対照表： 決算日における法人の財務状況

資金収支計算書における事業活動収入計は、280,433千円、人件費・事業費としての支出等の支出合計額は、303,451千円で、事業活動収支差額は、△23,018千円で、施設整備等収支では、施設整備等収入が16,267千円、施設等整備支出が45,589千円で、施設整備等資金収支差額は、△29,322千円で、結果、当期資金収支差額は△52,340千円で、当期末支払資金残高は、228,590千円で、前年度より52,340千円の減額となりました。

次に、事業活動計算書におけるサービス活動収益額は、278,364千円、人件費等の費用は、325,952千円で、サービス活動増減差額は、△47,587千円、サービス活動外増減差額は、1,512千円、経常増減差額は、△46,075千円、特別増減差額は、△617千円、次期繰越活動増減差額は、219,939千円となり、前年度より46,692千円の減少となっています。

次に、貸借対照表の資産の部は、前年度より46,947千円減少の850,503千円、負債の部では、5,358千円減少の73,365千円、純資産の部では、41,588千円減少の777,137千円でありました。

この決算状況を見てみると介護報酬では、前年度と比較して3,742千円の減収で、昨年度に引き続き新型コロナ感染予防対策として新規入所の間隔を伸ばしたことと、ショートステイの受入に制限を掛けたことで入所希望者が減少したこと、新型コロナのクラスター発生に伴いデイサービスを1か月間営業休止したことなどが影響していると考えられます。

施設整備事業としては、風水害等による停電発生時の電源確保のための非常用自家発電機設置及び施設周辺倉庫等整備の2件の工事を実施いたしました。

また、浴室リフトが経年劣化により油圧に不具合が生じていたため、11月に安全のために同型機への取替を実施いたしました。

(2) 労務管理

本年度は、施設長1名、介護員6名、事務員1名が退職しましたが、新たに介護員4名を採用しました。昨年に続き退職者が多数ありました。新規採用は難しい状況にあります、介護職員待遇改善加算及び、特定待遇改善加算、ベースアップ等支援加算を算定し、更なる勤労意欲向上と専門職としての技術向上を図りました。

また、青少年の採用と職業能力開発並びに定着促進の取組が評価され、昨年度に引き続き本年度も『ユースエール事業所』として厚生労働大臣から認定されました。

(3) 地域ボランティア及び福祉教育の実践

本年度も、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、早朝ボランティや日曜日の食事介助のボランティアのみ受け入れを行いました。

保育園・小学生・中学生及び高校生の入所者との交流や、地域の皆様による花見会・夏祭り・敬老会・誕生会など年間行事の演芸を受入れることが出来ませんでしたが、イベントの演芸等は職員が趣向を凝らして実施し、楽しんで頂きました。

(4) リスクマネジメント

介護におけるリスクマネジメントは非常に重要な事項であり、「利用者の尊厳の保持」と「良質かつ適切なサービス」を担保するため、事故防止・苦情相談などを含め、サービス向上委員会を毎月開催して問題点の掘り起こしを行いながら、より安全で良質な介護サービスを目指して「身体拘束等適正化のための指針」に基づき研修機会を設け職員意識の向上を図りました。

(5) 食事の提供

食事提供業務は、専門業者への委託方式により実施いたしました。コロナ禍で、入所者・利用者の外出制限及びご家族等との直接面会ができない状況にある中、生活の中心に「食」を据え、管理栄養士を中心とした給食委員会で、利用者の身体の状況や嗜好など十分精査しながら、季節食材の旬を可能な限り利活用し、毎月1回の“食祭りイベント”を実施するなど、入所者・利用者が楽しく、美味しく食事することができるよう、個々の食事形態にも十分配慮した食事の提供に努めました。

(6) 施設の安全管理

法令に基づき防火管理者指揮のもとに、佐世保市東消防署と協議しながら9月に自然災害訓練を、5月と11月には、夜間の出火を想定した消防避難訓練を実施し、入所者の避難誘導や職員の防火知識の普及に努めました。

11月に西海警察署の指導の下防犯訓練を行い、不審者対応時のシミュレーション

ンを行いました。

また、常備消防の査察や法令に基づく建物検査を受検し、必要な対策を講じました。

2. 法人事業概要

- (1) 法人名：社会福祉法人 寿泉会
- (2) 所在地：長崎県西海市大瀬戸町瀬戸板浦郷 1123 番地 14
- (3) 設立許可年月日：平成4年4月14日
- (4) 法人事業：第1種、第2種社会福祉事業

第1種社会福祉事業

事業種別	介護老人福祉施設
施設名	特別養護老人ホーム 海風荘
定員	67名
事業開始年月日	平成5年4月1日

第2種社会福祉事業

事業種別	短期入所生活介護
施設名	海風荘 短期入所生活介護事業所
定員	8名
事業開始年月日	平成5年4月1日

事業種別	通所介護
施設名	海風荘 デイサービスセンター
定員	18名
事業開始年月日	平成5年3月29日

事業種別	居宅介護支援
施設名	海風荘 居宅介護支援事業所
定員	60名 (CM1名当たり30名)
事業開始年月日	平成11年9月1日

長崎県社会福祉法人経営者協議会から、レスキュー事業の実施法人として指定を受け、生計困難者レスキュー事業の経営（第2種社会福祉事業）を実施しています。

3. 評議員会

(1) 評議員の構成（令和5年3月31日現在）

評議員 定数7名（現員7名）

	氏 名	選 任 年 月 日
評議員	武宮 學	令和3年6月18日
評議員	浦口 貴	//
評議員	野田 憲佑	//
評議員	中富 征二	//
評議員	吉岡 良二	//
評議員	島本 英二	//
評議員	寺本 由紀子	//

※就任期間は、令和7年度定時評議員会まで

(2) 評議員会開催状況

開 催 年 月 日	評 議 員 会 の 目 的 事 項			出席者数
令和4年6月23日	議案第1号	令和3年度決算の承認について		6/7 欠1
	議案第2号	定款の一部変更の承認について		
	議案第3号	役員等報酬規程の一部改正の承認について		

※議案については、すべて承認・可決されました。

4. 理事会

(1) 役員の構成（令和5年3月31日現在）

理事 定数6名（現員6名）

監事 定数2名（現員2名）

役 職	氏 名	役 員 の 資 格 等				
		経営識見	地域福祉	管理者等	財務	その他
理事長	中村 逸雄	○				
理 事	永江 親人		○			
理 事	林 俊範		○			
業務執行理事	中村 佳久子		○			
理 事	岩倉 光義			○		
理 事	坂口 順子					○
監 事	林田 悅	○				
監 事	内田 延佳				○	

(2) 理事会開催状況

開 催 年 月 日	決 議 事 項		出席者数	
			理 事	監 事
令和4年6月6日	議案第1号	令和3年度事業報告の承認について	6/6	2/2
	議案第2号	令和3年度決算の承認について		
	議案第3号	定款の一部変更について		
	議案第4号	役員等報酬規程の一部改正について		
	議案第5号	経理規程の一部改正について		
	議案第6号	就業規則の一部改正について		
	議案第7号	定時評議員会の開催及び議案について		
	議案第8号	30周年記念事業のあり方について		
令和4年12月20日	議案第1号	給与規程の一部改正について	6/6	2/2
	議案第2号	令和4年度補正予算の編成について		
	議案第3号	特別養護老人ホーム海風荘施設長の任免について		
令和5年3月28日	議案第1号	令和4年度 補正予算(案)の承認について	5/6 欠1	2/2
	議案第2号	令和5年度 事業計画(案)の承認について		
	議案第3号	令和5年度 事業予算(案)の承認について		
	議案第4号	海風荘デイサービスセンター運営規程の一部改正について		
	議案第5号	海風荘居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について		
	議案第6号	次回理事会議案 役員就任について		

※議案については、すべて承認・可決されました。

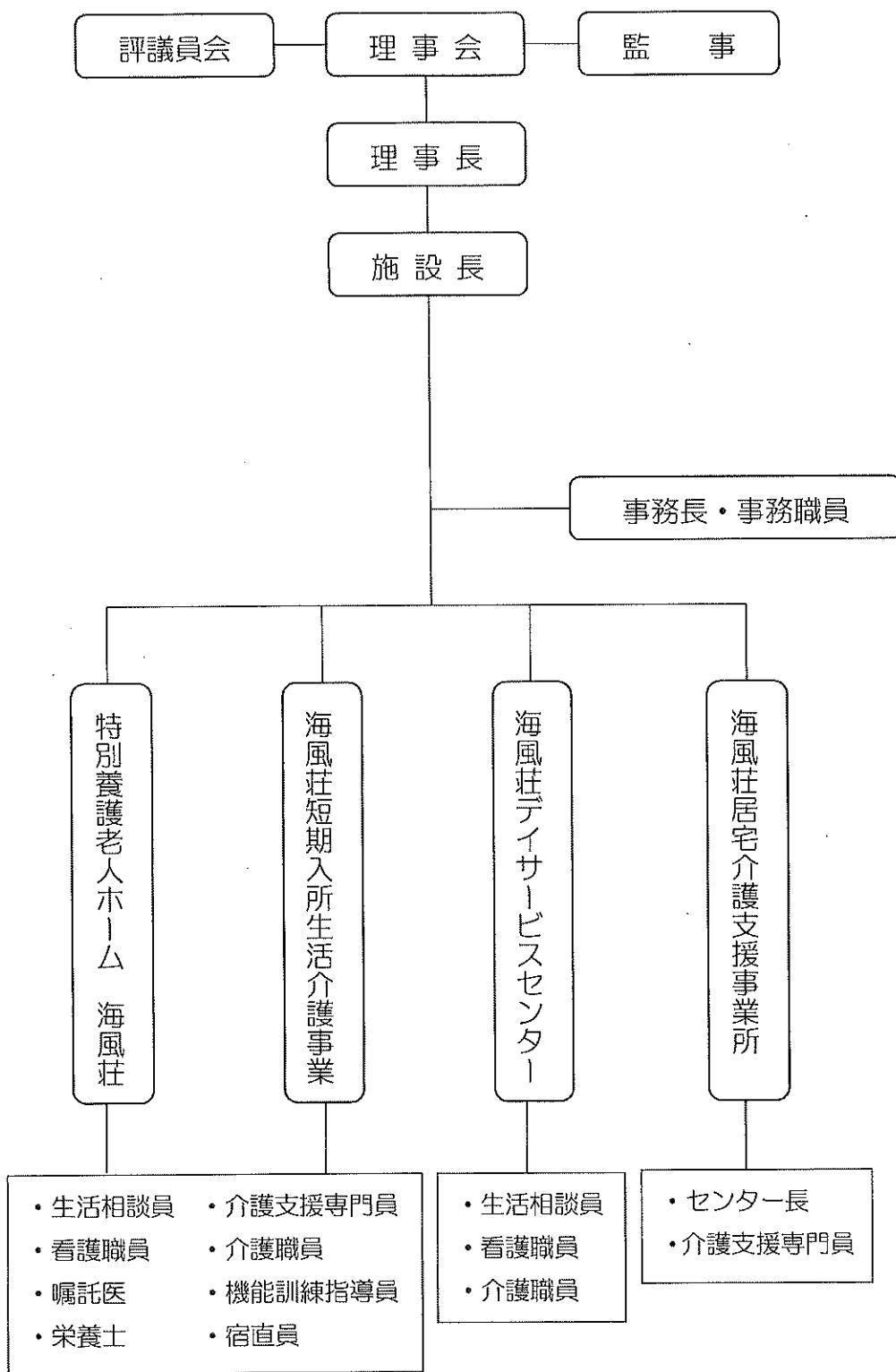
5. 職員状況

種 別	令和5年3月31日現在 配置数				令和4年度中	
	特 養	短期入所	通所介護	居宅介護	退職	採用
施 設 長	1				1	
セ ン タ ー 長				1		
事 務 長	1					
事 務 員	2				1	
主任生活相談員	1					
生 活 相 談 員			1			
主任介護支援専門員				(1)		
介護支援専門員	1			1		
機能訓練指導員	1(1)	1(1)	(1)			
主 任 看 護 師	1	(1)				
看 護 師	2	(2)	1			
看 護 職 員	1	(1)				
主 任 介 護 員	1	(1)				
副 任 介 護 員	3	(3)			2	
介 護 員	26	(26)	3		4	4
介 助 員						
管 理 栄 養 士	1					
栄 養 士						
嘱 記 医	【2】					
嘱 記 歯 科 医	【1】					
理 学 療 法 士	【1】					
宿 直 員	【2】					

() は、同部門の他職種が兼務

【 】 は、法人との契約者

6. 運営組織図



7. 年間行事開催状況

開催日	行 事 内 容		備 考
4	16	お花見会	
	23	誕生会	職員余興
5	18	消防訓練（1回）	
	21	誕生会	職員余興
6	25	誕生会	職員余興
7	16	誕生会	職員余興
	23	夏祭り	
8	12	初盆供養	
	27	誕生会	職員余興
9	17	誕生会	職員余興
	24	敬老会	
	28	自然災害訓練	
10	19	食堂ホール及び中庭昼食会	
	29	誕生会	職員余興
11	5	ふかし芋食す会	
	16	消防訓練（2回）	
	30	誕生会	職員余興
12	24	誕生会	職員余興
1	※行事中止（クラスター発生）		
2	25	誕生会（1月含む）	紹介のみ
3	25	誕生会	紹介のみ

※新型コロナウィルス感染予防及び感染拡大防止対策のため、各種行事の開催方法を検討し、自粛した行事もありました。

8. 職員研修等

（1）施設内研修

開 催 日	研 修 内 容	参加数
毎月2回（年間24回）	口腔ケア（臼歯及び義歯の取扱い等）	名
4/20・21・23	介護技術（移乗リフト）	27名
5/25	事故・ニアミス防止（第1回）	25名

7/18	介護技術	
8/4 9/1・4・15	感染対策・食中毒予防（第1回）	95名
9/18	自然災害BCP	7名
9/18	事故・ニアミス防止（第2回）	22名
9/24	褥瘡予防	25名
10/5・7・9 11・12・13	高齢者虐待防止及び身体拘束廃止(第1回)	48名
10/19・22 11/4・6・19	高齢者虐待防止及び身体拘束廃止(第2回)	17名
11/9	防犯対策（不審者対応）	27名
11/12	メンタルヘルス	16名
12/28～1/25	感染症BCP（実地訓練）	824名
3/11	認知症	名
3/15	終末期（看取り）対応	14名
3/20	苦情対応	21名

(2) 施設外研修

本年度の施設外研修は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、殆どの研修をリモート（Web）で受講いたしました。（注）：リモートは、“※”で表示

開催日	研修内容	参加数
4/28～9/30	実務者研修	1名
5/13※	避難行動支援者個別計画の進捗状況について	4名
5/28※	災害時研修	4名
5/28※	高齢者の身体機能を低下させない栄養管理	1名
6/4※	看護者としての倫理観、医療安全の基礎知識	1名
6/15	ポストコロナ時代の社会福祉法人を考える	1名
6/20	始まった令和6年度介護保険法改正審議と本格化するLIFEの活用ポイント	1名
7/1	高齢者権利擁護推進員養成研修	1名
7/4※	栄養マネジメント加算について	1名
7/5※	LIFEについて	2名
7/6※	市重層的支援事業整備について	3名

7/18※	眠りスキャンについて	16名
8/3※	栄養ケアマネジメント	1名
8/4、9/1、9/4、9/15※	感染防止対策多職種研修会	101名
8/20※	准看護士スキルアップ研修	1名
8/29※	老施協沖縄大会	1名
8/30※	接遇	3名
8/30※	眠りスキャンで変わる転倒リスク低減への道	1名
9/6、14※	意欲向上セミナー	1名
9/8	人権労働関係制度	1名
9/12※	県介護サービス事業者集団指導	5名
9/15、16、(9/21、12/2※)	権利擁護実践研修	1名
9/16、29※	意欲向上セミナー	1名
9/17※	褥瘡・スキンテアの予防とケア	1名
10/2※	ACP で活用できる援助的コミュニケーション	2名
10/13※	口腔・排せつケア研修	17名
10/19※	嚥下機能低下の食支援と栄養低下	1名
10/20~22、11/23~25	介護支援専門員研修	1名
11/15※	福祉サービス苦情解決セミナー	1名
11/15~11/17	看護実務者研修	1名
11/16※	雇用管理者講習	1名
11/29~30	介護のしごと魅力伝道師研修	1名
11/29※	栄養ケアプロセス研修	1名
12/2※	難病患者の災害支援	1名
1/18※	介護職の取り組み	1名
1/21※	適切なマネジメント手法	2名
1/24※	労働契約セミナー	1名
1/30	権利擁護管理者研修	1名
2/22※	人材を人財にする育て方	1名
2/27	ICT 導入による業務改善セミナー	2名
3/8※	社会福祉法人における経営分析セミナー	1名

3/13※	明日から使える認知症ケアの実践	2名
3/19※	崎戸地区ミニフォーラム	2名

(3) 新採職員施設内研修

月	日	研修内容	講師	参加数
4	5	施設・法人の概要、福祉サービスについて、個人情報の保護、介護保険制度の概要、ハラスメント防止、コンプライアンス	施設長	2名
5	22	介護技術 (DVD 視聴)、事故・ニアミス等予防	主任生活相談員	1名
	31	介護保険制度について 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	介護支援専門員	1名
7	24	介護技術 (DVD 視聴)、事故・ニアミス等予防	主任生活相談員	1名
8	7	介護保険制度について 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	介護支援専門員	1名
9	15	施設・法人の概要、福祉サービスについて、個人情報の保護、介護保険制度の概要、ハラスメント防止、コンプライアンス	施設長	2名
	20	施設・法人の概要、福祉サービスについて、個人情報の保護、介護保険制度の概要、ハラスメント防止、コンプライアンス	施設長	1名
10	4	介護保険制度について 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	介護支援専門員	1名
3	12	介護保険制度について 高齢者虐待防止・身体拘束廃止について	介護支援専門員	1名

9. 特別養護老人ホーム海風荘

(1) 稼働状況

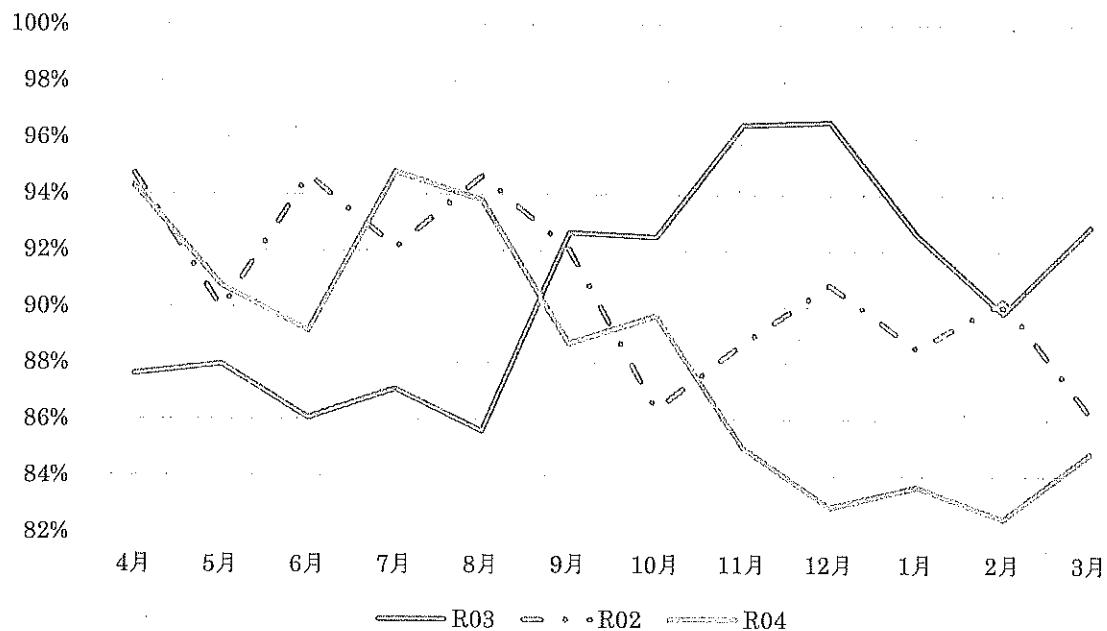
(単位:名、%)

特 養	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数	1,895	1,885	1,792	1,969	1,948	1,783
稼働率	94	91	89	95	94	89
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数	1,863	1,709	1,722	1,737	1,548	1,762
稼働率	90	85	83	84	83	85

令和4年度計	
実績延人数	21,613名
年間稼働率	88.4%

※実績延人数には、長期入院時等の介護保険請求対象外となる方は、含まれていません。

稼働状況

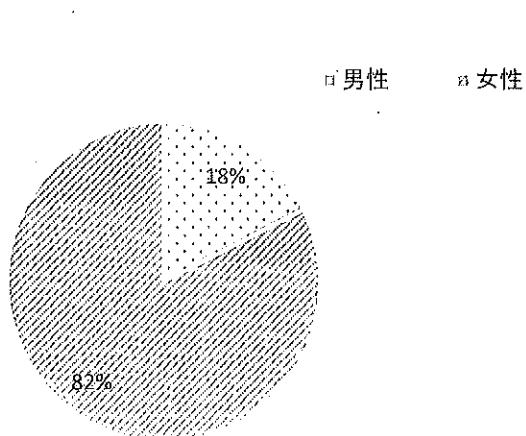


令和4年度の平均稼働率は88.4%であり、これは前年度より減少しました。

高稼働率の維持が高収入の必須条件ですが、入所者の重度化により、稼働率(収入)には算定できない6日以上の長期入院者の発生や年末年始にかけてクラスター感染症の影響で入所開始が遅れるなどにより、満室満床状態の確保は出来ませんでした。

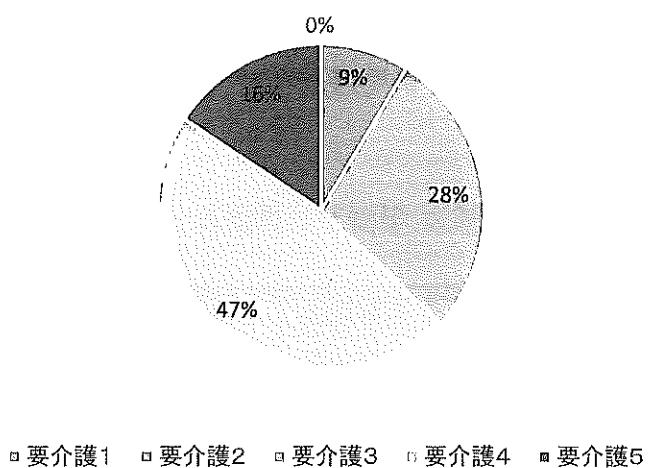
(2) 入所者男女別割合と要介護度状況（令和5年3月31日現在）

入所者男女別割合



令和4年度末現在の入所者男女別割合は、男性が18%、女性が82%でした。

入所者要介護度別割合



令和4年度末現在の入所者要介護度別割合は、要介護4が47%と最も多く、次いで多い要介護3の28%と合わせると、75%となります。

(3) 入所者平均要介護度

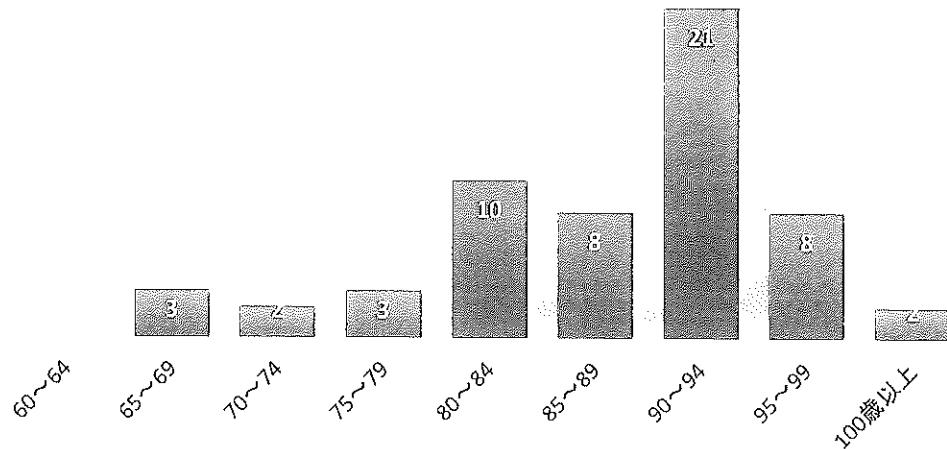
特 養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護度	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7

※各月末時点での要介護度

各月末時点での入所者平均要介護度は、年間を通して3.7で、年間の平均要介護度も3.7でした。

(4) 入所者年齢状況（令和5年3月31日現在）

入所者年齢状況



令和4年度末現在の入所者の年齢状況は、80～84歳及び85～89歳が18名であり、90～94歳が21名でした。また最高年齢105歳、最少年齢66歳で、平均年齢は87.8歳でした。

(5) 入所者の入所期間状況（令和5年3月31日現在）

(単位：名、%)

入所期間	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 7年未満	7年以上 9年未満	9年以上	合計
男性	1	5	3	0	0	0	9
女性	9	13	12	7	4	3	48
合計	10	18	15	7	4	3	57
割合	17.6	31.6	26.3	12.3	7.0	5.2	100.0

平均入所期間	男性	21.2ヶ月	女性	43.5ヶ月	全体	38.5ヶ月
--------	----	--------	----	--------	----	--------

令和4年度末日現在における入所期間は、男性が21.2ヶ月、女性が43.5ヶ月であり、入所者の重度化により入所されてから退所されるまでの期間は、短くなる傾向にあります。

(6) 入退所状況

(単位：名)

入退所状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入所	3	0	3	0	2	5
退所	2	1	1	2	0	0
月末在籍者	63	64	63	64	63	62
入退所状況	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	2	1	1	2	0	4
退所	1	1	3	0	1	3
月末在籍者	62	60	61	58	55	57

※入退所数は、各月中の入退所者数

令和4年度	
入所総数	15名
退所総数	22名

令和4年度における入退所状況は、退所者22名、入所者15名で、前年度は、退所者18名、入所者23名でした。

退所者22名の内訳としては、死亡退所19名、入院退所3名でした。

入所者22名の平均要介護度は、3.8であり、平成27年度施行の介護保険制度改正により、原則、特養入所は要介護度3以上となったことが影響していると考えられます。

(7) 入所待機者（入所申込者）の状況

(単位：名)

各月末時点 待機者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	8	9	11	9	9	9
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	10	9	10	10	15	14

令和4年度の各月末における待機者数をみると、約8~15名で推移しており、年度末時点では14名でした。

入所申込は、以前と比較して増加傾向にあります。特にコロナ感染症の流行状況により増減がみられます。

(8) 給食の活動状況

□利用者の処遇改善

- ・利用者様の身体状態に合わせた食事提供を行いました。
- ・栄養リスクに応じたプランの作成および定期的なモニタリングを行いました。

□リスクマネジメント

- ・災害備蓄食及び保存水の確認、補充を行いました。 (3日分)

【食事形態別食数】

(単位：食)

	特養						
	常食	一口大	大きめ刻み	極刻み	ペースト	経管栄養	合計
4月	706	393	1535	1976	888	180	5678
5月	468	462	1619	1988	926	186	5649
6月	450	450	1498	2064	727	180	5369
7月	464	479	1534	2261	884	186	5808
8月	465	465	1576	2205	819	186	5716
9月	453	450	1436	2018	630	180	5167
10月	465	407	1320	2238	865	186	5481
11月	450	360	884	2239	928	180	5041
12月	385	372	930	2371	802	186	5046
1月	372	372	831	2401	925	174	5075
2月	376	354	691	1899	1118	112	4550
3月	491	310	859	1861	1481	124	5126
合計	5545	4874	14713	25521	10993	2060	63706

	短期入所生活介護					
	常食	一口大	大きめ刻み	極刻み	ペースト	合計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	7	0	0	0	0	7
7月	86	0	8	0	0	94
8月	94	0	94	0	0	188
9月	20	0	146	0	0	166
10月	3	0	94	0	0	97
11月	0	4	90	0	0	94
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合計	210	4	432	0	0	646

	デイサービス					
	常食	一口大	大きめ刻み	極刻み	ペースト	合計
4月	169	58	5	8	0	240
5月	155	59	12	7	0	233
6月	196	59	29	7	0	291
7月	182	49	29	7	0	267
8月	160	49	26	1	0	236
9月	175	56	26	6	0	263
10月	183	44	19	14	0	260
11月	223	54	19	24	0	320
12月	163	48	21	12	0	244
1月	8	4	2	1	0	15
2月	154	39	16	15	0	224
3月	192	45	13	17	0	267
合計	1960	564	217	119	0	2860

(9) 機能訓練の活動状況

□利用者の処遇向上

- ・クラスター後の対応として、部屋ごとに誘導を行いできるだけ、少人数での実施としました。
- ・1処置1アルコール消毒に努めて、感染予防に努めて実施しました。
- ・やりたいことを尋ねて、それを目標と掲げ、到達できるように具体的に訓練内容を変更しました。
- ・クラスター発生で、活動性の低下がありました。歩行可能な方は、機能低下に目立った変化はありませんでしたが、立位訓練を主にしていた方は、立位困難になり機能低下がありました。その原因は、膝関節拘縮の進行によるものと考えられます。
- ・Pトイレやトイレでの自力排泄が可能となるようにオムツ外しを目標にしていました。
- ・車椅子移動から歩行器やシルバーカーでの歩行を目指した下肢筋力増強訓練を行いました。
- ・移乗動作が少しでもしやすくなるように、車いすの選択や高さの調整を行ってきました。

□稼働率の維持、向上

- ・令和5年1月にクラスター発生となり、1月、2月、3月は上肢訓練、作業訓練、物理療法で実施できない日がありました。

□職員の技術、知識の向上

- ・機能訓練時以外における介護の留意点について、PT の支援を受けて全職員対象の

研修を実施しました。

- ・介護員の介護量負担軽減ため、物品を使用した移乗方法を模索しています。

【特養 個別機能訓練加算算定数】

(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
あさひ班	853	951	881	956	961	930	965	917	852	831	692	802
そら班	1050	1023	990	1035	1006	930	961	875	1008	1023	888	960
合 計	1903	1974	1871	1991	1967	1860	1926	1792	1860	1854	1580	1762

【特養 機能訓練内容別実施人数】

(延べ人数)

訓練内容		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
		対象数	延べ数										
車椅子 移 乗	生活	60	1755	61	1723	58	1699	60	1818	61	1789	58	1641
関節可動 域訓練	個別	38	545	35	573	35	544	35	545	33	509	31	479
立 位 訓 練	個別	28	193	30	165	29	141	28	207	23	129	25	177
歩 行 訓 練	個別	20	157	20	150	20	122	20	202	17	112	19	143
上 肢 訓 練	個別	37	243	34	215	33	165	35	301	36	158	39	252
物 理 療 法	個別	41	272	39	225	39	183	40	329	30	267	35	274
作 業 療 法	個別	50	375	49	318	50	249	52	421	47	226	50	312
訓練内容		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		対象数	延べ数										
車椅子 移 乗	生活	56	1708	54	1539	55	1551	46	1177	45	1080	46	1267
関節可動 域訓練	個別	33	555	30	528	30	463	31	56	30	524	30	469
立 位 訓 練	個別	17	155	20	150	19	143	18	0	18	21	18	40
歩 行 訓 練	個別	10	128	11	167	12	178	13	1	12	16	13	21
上 肢 訓 練	個別	35	264	34	248	34	254	33	0	32	0	32	0
物 理 療 法	個別	28	225	28	235	28	223	28	0	27	0	27	0
作 業 療 法	個別	38	270	39	299	38	293	38	0	37	0	36	0

10. 海風荘短期入所生活介護事業所

※以下、「短期入所生活介護」を、SS（ショートステイの略）と表記することがあります。

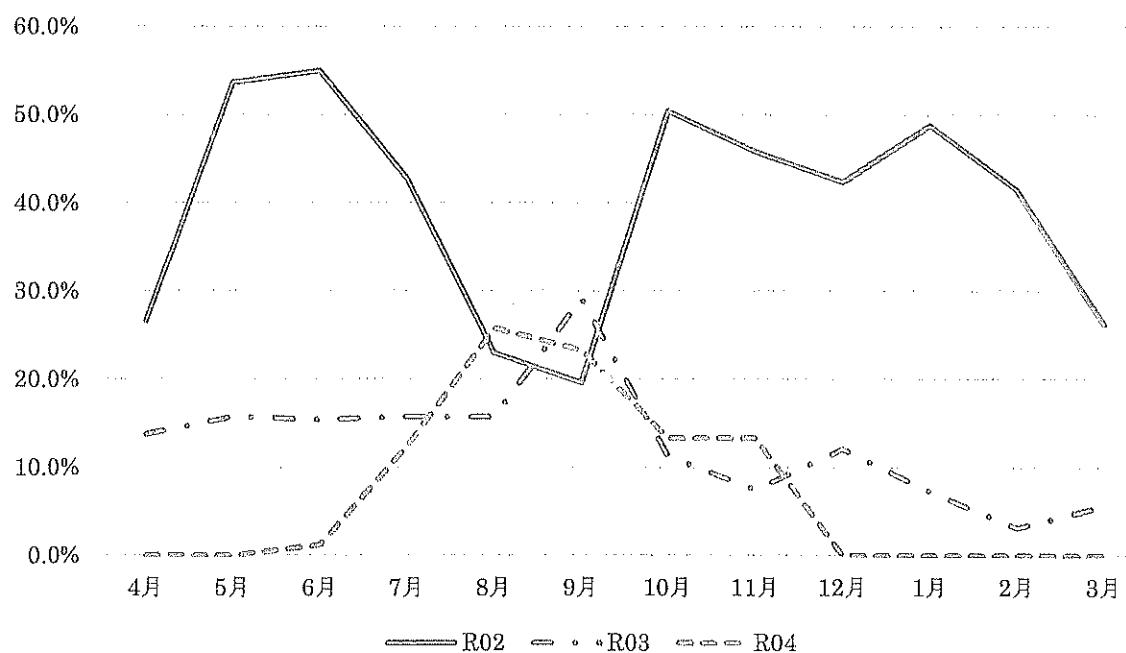
(1) 稼働状況

(単位：名、%)

短期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績延人数	0	0	3	31	64	56
稼 働 率	0	0	1	13	26	23
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績延人数	33	32	0	0	0	0
稼 働 率	13	13	0	0	0	0

令和4年度計	
実績延人数	219名
年間稼働率	8%

稼働状況



令和4年度の平均稼働率は8%で、前年度の13%に対して約5ポイントの減少でした。昨年度と比較してみると8月は前年度を上回っていたものの、それ以降は低迷が続き、通年感染症予防のため事前にコロナワクチン接種の確認やPCR等検査後の利用を徹底したため、実質的な稼働率の低下となりました。

次年度以降も、感染症対策が年間を通じて必要な状態が続くことが考えられます、年間目標稼働率を10%程度に設定し、方策について検討いたします。

(2) 利用者平均要介護度

短期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護度	—	—	4	4	4	3.5	3	3.5	—	—	—	—	3.6

※要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として各月末時点での平均介護度を算出

各月末時点での入所者平均要介護度は、2~5で推移し、年間平均要介護度は3.6でした。

(3) 利用者年齢状況（平均年齢）

介護予防 SS

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均年齢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

介護 SS

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平均年齢	—	—	81	81	83.7	84	81	87.5	—	—	—	—	83

短期入所生活介護の利用者の年度を通しての平均年齢は介護が83歳でした。

(4) 利用頻度状況

1利用者が1ヶ月中にSSを利用する回数

短期	1回	2回	3回	4回	5回	合計
人数	11	—	—	—	—	11名
割合	100	—	—	—	—	100%

1回のSS利用で滞在する日数

短期	3日間以内	4~7日間	8~14日間	15~20日間	21日以上	合計
人数	3	0	1	0	7	11名
割合	27.3	0	9.1	0	63.6	100%

1利用者当たりの平均滞在日数	19.9日
----------------	-------

1利用者が1ヶ月にSSを利用する回数は、1回/月が最も多く全体の100%でした。

1利用あたりの滞在日数では、21日以上が全体の63.6%と最も多く、
1利用あたりの平均滞在日数は、19.9日でした。

【ショートステイ 機能訓練実施人數】 (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
機能訓練	0	0	0	18	19	35	18	19	0	0	0	0

11. 海風荘デイサービスセンター（地域密着型・総合事業）

(1) 稼働状況

単位：(名、日、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	10	12	18	16	12	13	14	12	9	—	12	13	141
要支援2	17	14	24	13	11	13	23	28	26	—	19	21	209
要介護1	98	105	103	99	88	96	83	104	89	7	87	104	1063
要介護2	85	73	107	105	92	107	105	134	100	8	94	106	1116
要介護3	30	29	39	33	28	32	33	42	21	—	4	9	300
要介護4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	14	21
要介護5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
累計	240	233	291	266	231	261	258	320	245	15	223	267	2,850
稼働日	20	19	22	21	20	20	19	22	19	2	19	23	226
稼働率	67	68	73	70	64	73	75	81	72	42	65	64	68

令和4年度の平均稼働率は、68%、前年度の61%に対して、プラス7ポイントの上昇でした。

目標稼働率を75%に設定し稼働していますが、利用当日に何らかの理由で休みの連絡をしてくるという状況や、新型コロナウィルス感染症の拡大により目標稼働率を達成するには至っていない状況にあります。

令和5年1月については施設内でのクラスターの発生もあり、開所日が2日となりました。

今後も新型コロナウィルス等感染症対策に留意しながら、安定したサービスの提供ができるよう努めていきたいと思います。

(2) 要介護度別の男女別利用状況

(単位：名)

要介護度	男性	女性	合計
要支援 1	45	96	141
要支援 2	40	169	209
要介護 1	172	891	1,063
要介護 2	411	705	1,116
要介護 3	166	134	300
要介護 4	21	—	21
要介護 5	—	—	—
合計	855	1,995	2,850

※令和5年3月末時点

登録人数：男性 10 名、女性 22 名、合計 32 名

(3) 利用者平均要介護度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.4	1.4	1.4	1.5	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.4

※要支援1を介護度0.25、要支援2を介護度0.5として、全体の平均介護度を独自に算出しています。

各月末時点での利用者平均要介護度は、1.3～1.5の範囲にあり、年間平均要介護度は1.4でした。

身体的な介護を必要とする方は多くありませんが、認知症の症状が進行している方が多く、常に見守りや声掛け等、職員の介護量が増加しています。

(4) 利用者年齢状況（平均年齢）

介護予防デイ（総合事業）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
89.0	87.5	88.4	87.1	87.2	88.6	87.5	88.5	88.0	—	88.6	88.6	88.0

介護デイ（地域密着型）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
87.0	87.0	87.1	87.3	86.9	87.3	87.3	87.3	87.2	87.5	86.6	86.2	87.1

(5) 利用頻度状況（令和5年3月中利用者）

1 利用者が1週間に利用する基本パターン

	週1回	週2回	週3回	週4回	週5回	合計
人数	5名	18名	3名	2名	2名	30名
割合	17%	60%	10%	7%	7%	

※登録人数は、32名ですが入院等により、3月の利用人数は、30名でした。

※令和4年度末（令和5年3月）における利用頻度は、週2回が最も多く全体の60%となっています。



12. 海風荘居宅介護支援事業所

(1) 事業実施報告

ご利用者がそれぞれの生活力に応じ住み慣れた自宅での生活が継続できるよう、ご利用者、ご家族から適切な情報収集や主治医からのアドバイス等、課題を把握するための連携を図り、この情報収集により見えてきた課題を基に、自立支援と重度化防止の視点を持って計画票を作成いたしました。

また、計画票に基づき提供されたサービスの状況を、担当者会議やモニタリング等で支援経過等の評価を行い、その都度、ご利用者やご家族に確認し、必要に応じてサービスの変更及び調整を行いました。

なお、ご利用者の入退院時は、医療機関への情報提供或いは情報共有などを行い、ご利用者が退院後も安心して自宅での生活が継続できるように連携を図りました。

今年度も、コロナ感染対策に留意しながらの訪問や、リモートでの会議に出席等、医療・介護の連携・情報共有を図りました。西海市地域包括支援センターが開催する自立支援会議や、地域ケア会議へもリモートで出席し、地域課題や不足している社会資源等の検討も行いました。

よりよいケアマネジメントを実践できるよう研鑽を積んでいきたいと思います。

今後も、地域の方から信頼され選ばれる事業所になれるように努めて参ります。

(2) 職員体制

- ・管理者（センター長） 1名
- ・主任介護支援専門員 1名（センター長兼務）
- ・介護支援専門員 1名

(3) ケアプラン作成状況 (単位：件)

介護度	件 数		
	男	女	合計
要支援 1	25	66	91
要支援2	0	47	47
計	25	113	138
要介護 1	34	166	200
要介護2	36	113	149
要介護3	16	33	49
要介護4	0	8	8
要介護5	4	0	4
計	90	320	410
総 計	115	433	548

(4) 活動状況

月	日	活動内容
4	16	施設 お花見会
	22	長崎県介護支援専門員協会 西海支部 役員会（リモート） 衛生管理委員会・サービス向上委員会
	23	施設 誕生会
	27	施設内研修会「職場でのハラスメントの防止に向けて」「育休制度について」
5	3	令和4年度 海風荘感染対策委員会
	4	海風荘デイサービス営業再開についての検討会
	13	令和4年度 長崎県介護支援専門員協会西海支部 総会・研修会（リモート）
	18	施設 令和4年度 第1回 消防訓練・水消火器による消火訓練
	21	施設 誕生会
	25	施設内研修会 令和4年度事故・ニアミス等防止研修会 「介護現場の事故を少しでも減少させる」
	26	令和4年度 包括と居宅介護事業所との意見交換会（リモート）
	27	衛生管理委員会・サービス向上委員会
	28	長崎県介護支援専門員協会主催研修会（災害対策部会）（リモート）
6	19	令和4年度 緊急感染対策委員会
	24	衛生管理委員会・サービス向上委員会
	27	感染予防対策会議
7	3	令和4年度 台風4号 災害対策会議
	6	令和4年度 第1回西海市重層の支援体制整備事業勉強会（リモート）
	16	施設 誕生会
	18	施設内研修会「眠りスキャン研修会」（リモート）
	22	衛生管理委員会・サービス向上委員会
	23	施設 第30回 海風荘夏祭り
8	4	4団体主催感染多職種協働研修会「新型コロナウイルスの最新情報」リモート
	9	西海市自立支援型地域ケア会議（リモート）
	18	施設内感染対策検討会 「デイサービス営業について」
	26	衛生管理委員会・サービス向上委員会
9	1	4団体主催感染多職種協働研修会「新型コロナウイルスの最新情報」リモート
	2	令和4年度集中減算前期分提出 施設 台風11号災害対策会議
	7	4団体主催感染多職種協働研修会「新型コロナウイルスの最新情報」リモート
	15	4団体主催感染多職種協働研修会「新型コロナウイルスの最新情報」リモート
	16	施設 台風14号 災害対策会議
	17	施設 誕生会
	18	施設 台風14号 災害対策会議、施設内研修会「事故ニアミス等防止」
	23	衛生管理委員会・サービス向上委員会

	24	施設 海風荘敬老会 施設内研修会 「褥瘡・体圧について」
	28	施設 令和4年度第1回 自然災害避難訓練

月	日	活動内容
10	3	多職種連携研修会（リモート）
	7	施設内研修会「高齢者権利擁護 高齢者虐待防止法について」
	13	施設内研修会「口腔ケア 排泄ケアの新たな方法」（リモート）
	28	衛生管理委員会・サービス向上委員会
11	9	施設内研修会「防犯 不審者対応」
	12	施設内研修会「ストレスに折れないメンタルの作り方 レジリエンス」
	16	施設 令和4年度 第2回 消防訓練
	25	令和4年度 介護保険施設等運営指導実施
	28	衛生管理委員会・サービス向上委員会
12	2	令和4年度 西彼地域難病患者支援連絡会 研修会「災害避難」（リモート）
	13	西海市自立支援型地域ケア会議（リモート）
	23	衛生管理委員会・サービス向上委員会
1	21	適切なケアマネジメント手法 実践セミナー研修会（リモート）
	27	衛生管理委員会・サービス向上委員会
2	7	令和4年度 西海市地域ケア会議（全体会）「リモート」
	14	西海市自立支援型地域ケア会議（リモート）
	21	長崎県介護支援専門員協会 西海支部 役員会
	24	衛生管理委員会・サービス向上委員会
3	7	令和4年度 集中減算後期分提出 西海市自立支援型地域ケア会議（リモート）
	11	施設内研修会「認知症ケア」
	13	令和4年度長崎地域リハビリテーション広域支援センター西海市ブロック研修 「明日から使える認知症ケアの実践について」（リモート）
	15	施設内研修会「看取りの基礎知識」 職員連絡会議
	19	令和4年度 崎戸地区地域助け合いミニフォーラム（リモート）
	20	施設内伝達研修会「苦情対応への知識と技術について」
	24	衛生管理委員会・サービス向上委員会
	25	施設 誕生会